



## 令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、今年度4月に6年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」を実施いたしました。この調査は、児童の学力や学習状況を把握することにより教育の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的として行われました。調査の結果を受け、全国的な状況との関係において、本校の調査結果の概要、課題、改善の方向についてお知らせします。なお、調査対象は6年生ですが、本校の教育の6年間における成果及び課題としてとらえ、今後の教育改善に役立てたいと考えております。各教科とも改善の方向として、**言語活動を中心とした子ども同士の学び合いを基本に**、以下のような活動の充実を図る。

### 本 校 の 概 要

### 今回の調査における課題

### 改 善 の 方 向

#### 国 語

#### 【区分及び領域】

- ◆「思考力、判断力、表現力等」の「話すこと・聞くこと」の領域で、平均正答率が、全国平均より下回っている。
- ◆「思考力、判断力、表現力等」の「書くこと」「読むこと」の二つの領域で、平均正答率が、全国平均より下回っている。
- ◆「知識及び技能」の「言葉の特徴や使い方に関する事項」について平均正答率が、全国平均より下回っている。

- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。
- 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるようにすること。
- 目的に応じて、必要な情報を見付けることができるように読むこと。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。

- 資料の活用による効果を予想しながら考えられるようにしたり、目的や相手、状況などを踏まえ、話す内容と資料との整合や、適切な提示の仕方に留意したりする学習活動の充実。
- 文章全体の筋道の整え方（文のつながりや配列、効果等）を教わった上で、児童自身が目的に応じて、ふさわしいつながりや配列を考えて文章に書き表す学習活動の充実。
- 自らの経験との関係を整理しながら、筆者のものの見方や感じ方について自分の考えと関連させて文書を読み取る学習活動の充実。
- 文章を書く際に、辞典を利用することを促す等、漢字を使うことを意識した学習活動の充実。

#### 算 数

#### 【区分及び領域】

- ◆「数と計算」の領域で、平均正答率が全国平均より下回っている。
- ◆「図形」の領域で、平均正答率が全国平均より下回っている。
- ◆「変化と関係」の領域で、平均正答率が全国平均より下回っている。
- ◆「データの活用」の領域で、平均正答率が全国平均より下回っている。

- 整数と小数の加法及び減法の計算をすることができるようにすること
- 立体図形を構成する要素に着目し、図形の性質や構成の仕方、計量の仕方について考察できるようにすること
- 割合と比較量から、基準量を求めることができるようにすること
- 集計に当たって誤りがないかを確かめ、誤りの有無の根拠を、表やグラフなどを基に説明できるようにすること。

- 小数の加法及び減法は、小数の仕組みの理解に基づき、整数と同じ原理、手順で計算できるよう習熟を図る。
- 具体的な操作を通して図形を構成する要素や図形の性質について見いだしたことを基に、面積や体積の計算の求め方を説明できるようにする。
- 基準量、比較量、割合の関係を捉え、百分率は、基準量を100としてそれに対する割合で表す方法であることを理解し、求めたり用いたりできるように習熟を図る。
- 統計的に問題解決を行う際に、表やグラフを読み取って特徴や傾向を把握したり、正しく集計できているかを確認したりする学習活動の充実。

#### 【全国の平均正答率と比較して、以下の基準でお伝えしています。】

- ・ +3.1 ポイント以上 → 「上回っている」
- ・ +3.0 ポイントの範囲内で全国平均以上 → 「ほぼ同程度であるが、やや上回る」
- ・ 全国平均と同じ → 「ほぼ同程度」
- ・ -3.0 ポイントの範囲内で全国平均以下 → 「ほぼ同程度であるが、やや下回る」
- ・ -3.1 ポイント以下 → 「下回っている」

# 児童質問紙調査結果より

「児童質問紙調査」…

学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面等に関する調査

## ◎相互承認(自己承認、他者への承認、他者からの承認等)に係る項目

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合(単位: %)

| 質 問 事 項                              | 本校    | 全国   |
|--------------------------------------|-------|------|
| 自分には、よいところがあると思いますか。                 | 86.3  | 85.6 |
| 将来の夢や目標をもっていますか。                     | 84.3  | 81.8 |
| 人が困っているときは、進んで助けていますか。               | 98.0  | 92.7 |
| 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。 | 82.4  | 70.6 |
| 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。                 | 100.0 | 95.8 |
| 学校に行くのは楽しいと思いますか。                    | 84.3  | 85.7 |

\*数値からは、他者に対して優しく接し、前向きに学校生活を送っている子どもたちの様子がうかがえる結果となりました。また、今年度は「自分には、よいところがある」と自己を肯定的に捉えられている児童の割合が、例年よりも数値が上がり、全国平均を上回りました。今後も教育活動の中で、「自分に『自信をもつ』ことのできる経験」や、「より良い『かかわり』の中での取組」の積み重ねを大切にしていきたいと考えます。

## ◎主体的・対話的で深い学びに係る項目

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合(単位: %)

| 質 問 事 項                                                                | 本校   | 全国   |
|------------------------------------------------------------------------|------|------|
| 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立て等を工夫して発表していましたか。 | 72.5 | 66.4 |
| 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。                          | 74.5 | 77.6 |
| 5年生までに受けた授業では、各教科等で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。                 | 72.6 | 73.4 |
| 5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間等になっていましたか。                              | 80.4 | 80.8 |
| 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができましたか。                | 82.3 | 85.7 |
| 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の授業につなげることができましたか。                    | 76.5 | 78.4 |

\*普段の学習の様子と関連付けて考察すると、今後も基礎的な学力をしっかりと身に付けさせるとともに、主体的・対話的な学びをより一層充実させていく必要があると考えます。ねばり強く取り組む姿勢を身に付けさせながら、互いにかかわって学ぶような場をつくる等、話す力・聞く力を高められる学習を目指していきます。

## ◎全国と比較して本校の特徴的な傾向を表している項目

(単位: %)

| 項 目                                                                                            | 本校   | 全国   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|
| 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。<br>※「1時間以上」を回答した割合                              | 33.3 | 54.0 |
| 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。<br>※「30分以上」を回答した割合                              | 23.0 | 31.1 |
| 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等でSNSや動画視聴をしますか。<br>※「2時間以上」を回答した割合 | 62.7 | 57.6 |

\*本校の特徴的な傾向を表している主な項目です。確かな基礎学力を身に付けていくためには、家庭での学習も大切にしなければなりません。また、スマートフォンやゲーム等の電子機器と向き合う時間をできるだけ長くならないようにし、読書や自然の中で過ごすことで豊かな感性を育むことへとつながってほしいものです。子どもの様々な力を伸ばすためにも、健やかな成長に向けての声掛けをお願いいたします。